

「逐次近似再構成画像の臨床的有用性」

大阪大学医学部附属病院 医療技術部 放射線部門 佐藤和彦

近年、CT 画像の再構成に逐次近似法を用いた画像再構成法が取り入れられつつある。この新しい画像再構成法の特長は、従来の **Filtered Back Projection (FBP)** 画像再構成法に比べ画像ノイズの低減、ひいては線量の低減に効果を発揮するとされていることである。各 CT メーカーからは、独自の手法による逐次近似再構成法が様々に提案され装置に実装されている。

本講演では、逐次近似再構成および逐次近似を応用した再構成画像の特長ならびに臨床での活用法について報告したい。